

長谷川港湾局長 私もテレビの放映を見ました。空港島の藻場の状況、海の豊かさの状況が紹介されており非常にうれしく思いました。
どういふものをうまくPRできるのかは、動画、写真、いろんなものを組み合わせながら、この環境の海の豊かさを、表現できるやり方について専門家を入れて、コンテンツを整理し、情報発信に努めたい。いろんな手段を講じながらPRをしてまいりたい。

平野達司 きれいな動画を作ってPRできれば、昨年認証されたブルーカーボンによるCO2削減量を、購入したJブルークレジットとして購入された企業が、PRしたりして神戸港のブルーカーボンが広がっていくのではないかと、
港湾局としてカーボンニュートラルポートを形成していくために、神戸の海岸線は総延長が138キロあり、それだけ海に接している所にアマモの種を広げて、藻場を形成していくべきではないか。阪神高速湾岸線西伸部が工事中であるが、そこの橋脚の足元に傾斜護岸で砂地をつくって、アマモを形成していくことができれば、よりブルーカーボンにつながるのではないかと。

松木港湾局副局長 兵庫運河、空港島、ポートアイランド2期の西護岸以外でも広げてはとのことだが、確かに海岸線の総延長が138キロあり、そこをいきなりは難しいが、湾岸道路西伸部において何かできないかと考えている。工事の中で藻場の形成など、環境に配慮した整備についてどうできるか、国への働きかけ、漁業者、地域の方々、それと栽培漁業センターを所管する経済観光局の方々とも連携して、検討していきたい。

平野達司 神戸は海と山が育むグローバル貢献都市としてうたっているのだから、ブルーカーボンにぜひ力を入れていただき、研究している高校生、大学生、そして大学も連携し、小学生に対しては教育も含めて進めていくことにより、持続可能なものにしていきたい。それが続いていけば、最終的には全国アマモサミットを神戸に誘致という形ができるのではないかと考えている。目標を持って進めていければと思う。

■ 経済観光局

平野達司 栽培漁業センターに、アマモの種の栽培計画が進んでいると聞いているが、この計画の進捗状況と今後のスケジュールについては。

安岡農政担当局長 アマモの栽培は、昨年度漁業者さんから、栽培漁業センターに対し、藻場の造成に使用するアマモの種苗生産ができないかと相談があり、藻場の造成は、稚魚の育成の場となり、栽培漁業センターで生産した稚魚の放流効果の向上につながる取り組みであることから、今年度からアマモの栽培試験を行うことになった。



神戸市垂水区にある神戸市立栽培漁業センター

現在の進捗状況は、5月に漁業者、神戸農政公社と、NPO法人様、神戸市で協議し、アマモの栽培試験用の種を確保し、既にアマモの栽培をしている市内の漁業者と連携して栽培試験に取り組むことで、意識の共有を図っているところ。

今後は、アマモの栽培実績のある他都市への視察を行う予定。種まきの適正な時期が10月頃と聞いているので、この際に栽培漁業センター内で、水槽でアマモの栽培を開始する。この事業が成功するために今準備を進めている。

平野達司 アマモは、ブルーカーボンの生態系にかなり貴重な存在であり、アマモの種の栽培が成功すれば、神戸市として、ブルーカーボンの推進に大きく踏み出したことになる。栽培漁業センターの今後の方向性として、そのアマモの栽培についても力を注いでいく必要があると考えているがいかかか。

安岡農政担当局長 アマモを含めてブルーカーボンは、我々も経済局も非常に重要なことと認識しており、観光局、港湾局と一緒にブルーカーボンの推進をしてきた。

漁業振興の観点からは、ブルーカーボンは魚介類の産卵や稚魚の育成の場としては非常に重要であると認識しており、そのためにもアマモの種苗生産は必要だと考えている。適正時期の10月から栽培試験に取り組み、ブルーカーボンの拡大に向けて治験を深めて、実験を進めていきたい。

(質疑のやりとりは要点を中心に、あとはカットしています。言葉のやりとりは丁寧な言葉や敬語を抜いています。)

神戸市議員平野達司(たつじ)事務所
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP



平野たつじ Facebook
神戸市の情報をお伝えいたします。

神戸市会の
本議会、委員会を
インターネットにて
閲覧できます。



神戸市会